



至善館

SHIZENKAN

大学院大学至善館

イノベーション経営学術院

2023年度科目等履修生募集要項

社会的インパクトの創出とマネジメントの本質

目的

科目等履修生制度は、至善館の専門職修士課程の開講科目の一部を、修士課程の履修生以外の方に科目単位で履修いただける制度です。科目ごとに募集・選考を行った上で若干名の方に履修を認めるもので、履修を完了された方は単位を取得することができます。

この募集要項では、日本語にて開講する「社会的インパクトの創出とマネジメントの本質」科目について記載します。科目等履修生を受け入れている他の科目については、P.6を参考にしてください。

科目の概要

資本主義社会の未来の形の変化が語られる中、変化を生み出すリーダーとして、社会イノベーションを生み出す発想や能力を身に着けること、そして社会イノベーションを生み出す機能が最も結晶化している「ソーシャルセクター」の本質的な役割についての理解をすることは必要不可欠であるといえる。

これまでも社会は企業、行政、そしてソーシャルセクターの3つの柱で構成されていると言われてきた。しかし、「ソーシャルセクター(市民社会)」が社会の発展に果たしてきた役割とこれからの未来の中で果たす可能性のある役割については、感覚値として実像がつかめていない人が多い。ドラッカーも言う通り、1990年代までは「社会」は変化しない所与のもので、その中で経済とテクノロジーを進化させればよかったが、システム化された社会、グローバル化の進行、社会的孤立の進展などにより、貧困、格差、医療介護システムのほころび、一次産業の衰退、地域コミュニティの空洞化、人間関係の希薄化など、多くの課題が噴出している中、「社会」そのものが大きな変数となっていて、社会問題の解決の考え方の本質的理解がないとビジネスも行政も大きな変化を生みだすことが困難となっている。

この科目では、こうした時代の変化の中で、社会問題に対して具体的なソリューションを生み出しているNPO、社会起業家、企業の事例を検証しつつ、それに伴う新たな潮流を概観するとともに、NPO・ソーシャルビジネスのエンドゲームやスケールアウトの発想、共感とイノベーション、ソーシャルな事業のファイナンス、エビデンスベースのイノベーションなどを考察しつつ、社会に変化を生み出すリーダーが本質的に理解をしておくべき事柄を実践的な学びを通じて考える。

(シラバスより抜粋。詳しくは本資料の末尾にシラバスを掲載しておりますので、参照してください。)

授業開催方法・日時

至善館キャンパスもしくはZoomを利用したオンラインにて実施することを予定しております。開講日時は以下の通りです(日本標準時間)。

セッション1:2024年1月13日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

セッション2:1月20日(土)8:45-12:00(Zoom)

セッション3:1月27日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

セッション4:2月3日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

セッション5:2月10日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

セッション6:2月17日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

セッション7:2月25日(日)8:45-12:00(至善館キャンパス)

セッション8:3月2日(土)8:45-12:00(至善館キャンパス)

選考方法

(1) 選考内容

入学者の選考は、出願書類による一次審査の後、面接試験による二次審査を経て、判定します。面接試験では、出願書類の内容を含め、本科目へ参加いただくにあたっての問題意識や適性について、総合的な評価を行います(※1)。本科目は日本語で実施しますので、選考についても日本語で実施します。

※1 本プログラムの選考では、GMATやGREのスコア提出を求めません。

(2) 面接試験

面接は原則としてオンラインにて(Zoomを利用)実施することを予定しております。面接日時は出願時に候補の中から選択していただきます。URL等の詳細については、第一次選考結果通知時にお知らせします。

出願資格

出願時点において、次のいずれかに該当する方で、本学入学までに、原則、常勤者として満3年以上の社会人経験を有する方が出願の資格を有します。

- (1) 大学を卒業した方
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 文部科学大臣の指定した方
- (5) 本学において修士課程を受けるにふさわしい学力および実務経験があると認められた方

出願及び選考プロセス

出願は、本学のウェブサイトより行なっていただきます。出願プロセスは、以下の4つのステップから構成されています。

ステップ1: 出願

- 次の出願フォームの指示に従い、出願してください。第二次の面接審査の希望日程も同時に伺います。なお、出願書類の志望動機の欄は、日本語で記入いただくようお願いいたします。

<https://forms.gle/df7JQT48xkmMYghn6>

ステップ2: 書類選考、面接審査日程のご連絡

- 提出書類をもとに、第一次の書類選考を行います。書類選考を通過した方を対象に、第二次の面接審査を行います。書類選考を通過した方に対して、出願フォームに記載頂いたE-mailアドレスに、事務局より面接審査の日程とZoom URLをお送りします。

ステップ3: 面接審査

- 面接審査は、オンライン(Zoom)にて行います。所要時間は30分程度です。

ステップ4: 合否連絡と入学手続

- 書類・面接審査の結果を踏まえて合否判断を行い、合否結果をご連絡します。
- 合格された方は、入学金と授業料の振り込みをいただきます。入学金と授業料の振り込みの完了をもって、科目等履修生としての受講を正式に認めます。

応募締め切り

- 2023年12月18日(月)12:00

面接審査日程(予定)

出願フォームに入力いただいた希望をもとに次の日程のいずれかで30分を予定しています。

2023年12月20日(水)18:30-22:00

2023年12月21日(木)18:30-22:00

合否結果のご連絡日程(予定)

出願フォームに記載頂いたE-mailアドレスに、事務局よりお送りします。

2023年12月25日(月)

入学手続きおよび履修手続き

手続きは、合格通知と併せてお知らせする指示にしたがって行ってください。

手続き期限は2024年1月12日(金)です。

出願にあたり入力いただく項目

出願にあたって入力いただく項目は以下の通りです。すべての項目が揃った時点で正式な出願受付となります。締め切りまでに全ての項目が提出されなかった場合、出願は受け付けられません。

1. 氏名
2. 性別
3. 国籍
4. 生年月日
5. 住所
6. 電話番号
7. E-mailアドレス
8. 現在の勤務先
9. 学習歴
10. 志望動機および本科目での学びへのコミットメント
11. 面接日程の希望
12. パスポートの写し(日本国籍以外の方)
13. 在留カードの写し(日本国籍以外の方)

入学検定料について

入学検定料は2023年度に関しては不要です。

学費等について

履修にかかる費用は次のとおりです。

科目等履修生 登録料	30,000円
授業料	200,000円
合 計	230,000円

- (1) 授業料には、コースにて用いるケース教材の費用(使用する場合)を含みますが、教科書や参考図書の費用は含みません。
- (2) 前年度または同年度に科目等履修生として他の科目を履修しており、その履修にあたり科目等履修生登録料(以下、登録料という)を支払い済みであった場合、2科目目以降の登録料の支払は免除されます。

個人情報の取り扱いについて

本学では、提出された出願書類等は、入試関連業務及び入学後の学籍管理関係業務以外には使用しません。本学のプライバシーポリシーについては、本学ホームページをご覧ください。応募した方々は、本学のプライバシーポリシーに同意されたものとみなします。

留意事項

- (1) 履修した科目の単位取得要件を満たした者については、単位を与え、本人の請求により単位習得証明書を発行します。
- (2) 科目等履修生には、通学証明書(通学定期用)及び学割証は発行されません。
- (3) 本学の科目等履修生であることを根拠とする在留資格は、取得できません。
- (4) 授業が未開講になった場合、受講許可を取り消す可能性がありますのでご了承ください。
- (5) 科目等履修生が単位の取得後5年以内に至善館の修士課程に入学した場合、単位取得科目について、4単位を上限に、取得済みとして認められる場合があります。この場合、当該科目の履修に際して支払い済みの授業料の金額を修士課程の授業料より差し引きます。

科目等履修生を募集する他の科目

至善館では、本科目以外にも、科目等履修生の受け入れを予定しています。以下が、2024年1月から2024年3月の期間における対象科目一覧です。

科目名	言語	開講時期	案内時期
Creating and Managing Social Impact	英語	2024年 1月-3月	2023年11月
リーダーシップと交渉学	日本語	2024年 1月-3月	2023年11月
Leadership and Negotiation	英語	2024年 1月-3月	2023年11月



科目名: ソーシャルインパクトの創出とマネジメントの本質

実施年度/学期: 二年次後期

単位数: 2単位(選択科目)

担当教員: 鵜尾 雅隆 教授

授業実施形態: 対面とオンラインで行う

科目の目的:

資本主義社会の未来の形の変化が語られる中、変化を生み出すリーダーとして、社会イノベーションを生み出す発想や能力を身に着けること、そして社会イノベーションを生み出す機能が最も結晶化している「ソーシャルセクター」の本質的な役割についての理解をすることは必要不可欠であるといえる。

この授業では、企業、行政と並ぶもう一つのセクターである「ソーシャルセクター(市民セクター)」という存在の持つ本質的意義や、今世界で生み出している変化やイノベーションについて考える。「企業とは何か」を考えてきている生徒の皆さんにとっては、「ソーシャルセクター(多元セクター)とは何か」「社会的インパクトとは何か」「NPOとは何か」という問いへの自分なりの答えを探究する旅であるといえる。

学修の到達目標:

1. NPOなどの「社会にインパクトを生み出す」ことを第一義的な目的とした組織が生み出しえる価値と可能性を、世界的に有名な事例検証や実際の社会起業家との対話を通じて体感することを目的とする。
2. 自らが人生を通じて社会にインパクトを生み出すために、どう今後を設計するかを構想を具体化する。
3. 本授業には、単科生としてNPOなどで社会問題の解決に最前線で取り組む生徒を招へいし、クラスディスカッションを通じて、より具体的な社会問題の理解や解決策の選択肢、葛藤や可能性なども理解を進める。

これまでも社会は企業、行政、そしてソーシャルセクターの3つの柱で構成されていると言われてきた。しかし、「ソーシャルセクター(市民社会)」が社会の発展に果たしてきた役割とこれからの未来の中で果たす可能性のある役割については、感覚値として実像がつかめていない人が多い。ドラッカーも言う通り、1990年代までは「社会」は変化しない所与のもので、その中で経済とテクノロジーを進化させればよかったが、システム化された社会、グローバル化の進行、社会的孤立の進展などにより、貧困、格差、医療介護システムのほころび、一次産業の衰退、地域コミュニティの空洞化、人間関係の希薄化など、多くの課題が噴出している中、「社会」そのものが大きな変数となっていて、社会問題の解決の考え方の本質的理解がないとビジネスも行政も大きな変化を生みだすことが困難となっている。

これまで至善館で得た社会学や東洋思想、企業論などの知見をベースに、実際に社会問題の解決に貢献すると考えた場合に、自らが全ての学びをどう構成して自分のアプローチを構想するかを考え、議論し探求する。

科目の位置づけ:

この科目は、一年次に提供した「社会システムの理論と人間存在の未来」(宮台真司特任教授)の授業で得た社会の大きなシフトについての理解や東洋思想、企業論、資本主義論などを踏まえつつ、ひとつの重要なソリューションである「ソーシャルセクター」における社会イノベーションと社会的インパクトの創出の本質を考察し、社会に変化を生み出すリーダーシップについて考える。この1年半学んできた学びを実際の社会変化に結び付けるための方法論についても考え、全人格リーダーシップ本大学院の目指す人材像である、「全人格」「マネジメント」「リーダーシップ」の3つの要素を実際の社会課題解決にどう生かしていくかをケーススタディや実際に最前線で活躍する社会起業家との対話を通じて「体感」し、自分の人生のリーダーシップに反映できるものを各自が獲得することを目指す。

学修アプローチ:

1. この科目では、こうした時代の変化の中で、社会問題に対して具体的なソリューションを生み出しているNPO、社会起業家、企業の事例を検証しつつ、それに伴う新たな潮流を概観する。
2. 「NPO・ソーシャルビジネスのエンドゲーム」や「NPOのスケールアウト論」「共感とイノベーション」、「ソーシャルな事業のファイナンス」、「エビデンスベースのイノベーション」などを考察しつつ、社会に変化を生み出すリーダーが本質的に理解しておくべき事柄を実践的な学びを通じて考える。
3. 最終課題としては自らの人生を通じてどう社会にインパクトを生み出す人になるかについて構想する。

教科書:

特になし

関連リーディング:

『私たちはどこまで資本主義に従うのか(Rebalancing Society)』(ヘンリー・ミンツバーグ著、ダイヤモンド社)

「社会的インパクトとは何か(Measuring and Improving Social Impact)」



特にNPO等の経験の少ない至善館学生はこの参考文献を読むことを推奨する。

「NPOの教科書～初歩的な疑問から答える NPOの教科書」(佐藤大吾、乙武洋匡著 日経BP 2015年)

「非営利組織の経営」(ピータードラッカー著 ダイヤモンド社2007年)

科目等履修生は至善館の生徒が前提としている社会認識を理解するためにこの参考文献を読むことを推奨する。「経営リーダーのための社会システム論」(至善館講義シリーズ)

成績評価:

この科目は、次の3つの要素で評価する。なお出席要件はもとより、「最終提出する課題(インパクト創出プラン)」は単位取得の必須要件となる。これらを未提出・未実施の場合は、単位の取得はできないものとする。やむをえず授業を欠席した場合でも授業ビデオを見たとうえでフィードバックシートを提出することは推奨する。

- ①クラス出席とディスカッションへの参加(30%)
- ②各クラス事前・終了後に提出する課題提出(30%)
- ③最終提出する課題(インパクト創出プラン)の発表とレポート(40%)

剽窃について:

本学の方針に従い、レポートにおけるリファレンス(引用元・参照元の明記)のないカット&ペーストやカンニング(剽窃、第三者による代筆等)、各種不正が発覚した場合、当該コースの成績をFとする。不正行為が二度にわたった場合は、内容の如何を問わず、退学処分とする。

レポートの提出遅延について:

提出期限を過ぎて提出されたレポートは減点対象とし、場合によっては評価対象外となるので注意されたい。

各セッションの概要:

セッション1:NPOやソーシャルビジネスの存在価値(鵜尾)[3時間]

セッション2:「共感性」の生み出す価値(鵜尾)[3時間]

セッション3:NPOの多元的スケール戦略を考える(鵜尾)[3時間]

セッション4:グローバルな社会課題解決のイノベーションを考える(鵜尾)[3時間]

セッション5:社会的インパクトを生み出す組織マネジメント(鵜尾)[3時間]



至善館

Graduate School of
Leadership and Innovation,
Shizenkan University

セッション6:社会的インパクト投資と社会的事業のファイナンス(鶴尾)[3時間]

セッション7:エビデンス・ベーストの社会イノベーション(鶴尾)[3時間]

セッション8:自身の人生でのインパクトを考える(鶴尾)[3時間]

以上

お問い合わせ



大学院大学至善館 事務局

住所: 〒103-6117 東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング17F

電話: 03-6281-9011

E-mail: admissions-non-degree@shizenkan.ac.jp